

校名	大阪府立金岡高等学校
校長名	高崎 克司

開催日時	令和6年2月22日(木)14:00~15:30
開催場所	大阪府立金岡高等学校 校長室
出席者(委員)	山東委員 青島委員 西村委員 加治屋委員
出席者(学校)	高崎校長 石川事務長 澤田教頭 門内首席 藤本首席 海老原教諭(進路指導部長) 松本展教諭(第三学年主任) 高木教諭(第二学年主任) 農端教諭(第一学年主任)
傍聴者	なし
協議資料	学校運営協議会実施要項 学校経営計画進捗状況 令和5年度大学短大 進路報告 学校教育自己診断結果 各学年学年通信
備考	

議題等(次第順)	
<p>1) 令和5年度「学校評価」および令和6年度「学校経営計画」策定に向けて</p> <p>2) 令和5年度卒業生の進路状況について(経過報告)</p> <p>3) 学校教育自己診断の結果および経年変化について</p> <p>4) 各学年の近況報告</p> <p>5) その他</p>	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>実施要項第4条(保護者からの意見)に係る報告</p> <p>・現時点において、保護者からの意見はない。</p> <p>1) 令和5年度「学校評価」および令和6年度「学校経営計画」策定に向けて</p> <p>・令和5年度「学校評価」について</p> <p>昨年度の評価では、◎-2項目:○-12項目:△-4項目であったのに対し、今年度は◎-7項目:○-9項目:△-1項目であり、良い結果であった。</p> <p>△の項目の1つ、教育産業の学力指標についての達成度については、昨年度から課題のある状態になっている。勉強時間や意識づけなど、抜本的に見直しが必要。危機感を持って改善していかなければならない項目のひとつ。</p> <p>・ビブリアバトルには継続的に参加しているが、今年度、本校初の府大会で予選通過となった。</p> <p>・働き方改革について、改善に向かっていく(月80時間超の時間外勤務者・昨年度28名→今年度18名)</p> <p>(意見)</p> <p>・様々な課題がある中で、先生がたは日々教育活動に力を注いでくれている。働き方改革を合理的に進めていただけたらと思う。</p> <p>2) 令和5年度卒業生進路について(経過報告)</p> <p>・48期生は大学進学希望者高く、69%[私立大学62%、国公立7%]が四年生大学進学希望(昨年 58%181名進学)</p> <p>・共通テストは37名が受験(昨年14名)。近隣の高校の中でも、昨年度より受験者数が増加したことは特筆できる。私立大学との問題傾向の解離から、共通テスト受験が避けられる傾向にあるが、併用入試をうまく利用し、共通テストの受験者を維持したいと考えている。</p> <p>(意見)</p> <p>・指定校推薦を希望する生徒は多いのか。</p> <p>→コロナ後特に、早期に進路を確定したいと考える傾向は、生徒、保護者ともに多くなっている。年明けの一般入試まで見据えて目標設定し、粘り強く力をつける指導を継続したい。</p>	

### 3) 学校教育自己診断の結果および経年変化について

・生徒への継続質問項目18のうち16項目で肯定値が上昇、保護者への質問項目15のうち14項目で肯定値が上昇、教職員への質問項目31のうち21項目で肯定値が上昇した。課題も少なくないが、様々な面で改善も見られる。

(意見)

・生徒の肯定値が全体的に極めて高い、「先生は生徒を大切にしている」の項目も肯定値が高く非常に良いことである。肯定値が90%を超えている項目も多い。良い取り組みをしているのではないだろうか。

・勉強面での項目の「授業はわかりやすい」の肯定値は、前述の学力指標をふまえた授業を行なうと、どうしても下降すると考えるが。

→確かに各教員がどの水準まで授業で掘り下げるかによって、生徒の理解度、わかったと実感させる度合いは変わる。そのバランスは難しい。授業中だけでなく、家庭学習をはじめ生徒が主体的に学習する習慣をいかに定着させるかが課題となる。